

小児看護学実習	3年・前期	2単位 90時間	准教授 柴崎由佳 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33310823

1. 授業のねらい・概要

小児看護学実習は、発達段階、健康段階の異なる子どもが生活する2施設（認定こども園，病棟）で実施する。学生が、成長・発達の過程にある子どもとその家族の特徴を理解するために、健康障害や発達障害があること、治療を受けることや病院に入院することが、子どもと家族にどのような影響を与えるのかを考えることができるようになることを目的とする。さらに子どもと家族を全人的にとらえ、それぞれの健康レベルに応じた看護を実践するための基礎的能力を身に着けることを目的とする。

2. 到達目標

1. 子どもの特性を日常生活の中で理解し、成長発達に応じた関わりができる。(D-2)
2. 子どもの健康障害や発達障害とそれに付随する環境の変化が子どもや家族に及ぼす影響について述べるができる。(D-2)
3. 入院治療が必要な子どもとその家族の看護上の問題に着目し、根拠に基づいた援助を述べるができる。(D-2)
4. 子どもを取り巻く保健・医療・福祉・教育の連携の必要性を理解し、小児看護の役割を述べるができる。(D-2)
5. 施設や対象に応じた安全行動や感染予防行動をとることができる。(D-2)
6. 子どもと家族の最善の利益のために看護が果たす役割について考察し、肯定的な子ども観を述べることができる。(D-2)

3. 授業の進め方

実習要項を参照

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして、調査学習，双方向アンケート，グループワーク，レポート，知識評価試験・技術チェックを用いる。

【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：Classroom等による学習課題や学習教材の提示・配信，学習課題の提出等

4. 授業計画（実習/実技）

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習期間：3年次前期に2週間 2. 実習施設：【認定こども園】上武大学附属幼稚園
【放課後児童クラブ】新町第一小児童クラブ 新町第二小学童保育所「藤」
【病院】国立病院機構渋川医療センター，群馬大学医学部附属病院， 3. 実習内容：実習要項参照 4. 担当教員：柴崎由佳，市村路子 |
|--|

5. 成績評価の方法・基準

臨地実習（事前課題，実習への取り組み，実習内容，実習記録，レポート）80%，知識評価試験・技術チェック20%とし，総合的に評価する。但し，どちらか一方でも合格基準（60%）に満たない場合は単位認定できない。期限までに提出されない課題・レポートがあった場合，単位認定できないこと

がある。実習評価は「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ルーブリック評価表を基に、5段階評価で採点する。尚、ルーブリック評価表に関する詳細は実習前オリエンテーションで別途説明する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：小児看護学の各科目で使用したテキスト

参考文献：小児看護学の各科目で紹介した文献や配布資料など、その他適宜紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的学習内容

小児看護学領域の授業、看護過程および基礎看護技術・小児看護技術を復習し実習に臨むこと。看護技術は、安全・安楽に配慮して確実に実施できるように練習すること。また、実習要項で定める事前学習課題を行い、内容や注意点、手順などを口頭で説明できるように学習しておくこと。事前学習が不十分な場合には実習に参加できないことがある。なお実習中は毎日（病棟実習：2.5時間以上、幼稚園・学童実習：2時間以上）予習・復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

必要な感染症対策ができていない者は履修できないことがある。

提出された事前学習課題が不足している場合には、履修できないことがある。

主体的、意欲的な実習への参加が重要である。遅刻、欠席および実習にふさわしくない行動は、参加態度として評価対象とするので注意すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は、教員が内容を確認し、内容に不備があるものは再提出を求める。

試験実施後口頭で解答解説を行うか、解答を掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、実習を行う。